

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年1月26日

事業所名 心理・発達相談室 こぐま 職員数 10 回収数 10 割合 100 %

		チェック項目	はい (%)	いいえ (%)	わから ない	工夫している点、課題や改善すべき点な ど
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	②	職員の配置数は適切であるか	80	20		欠勤時の代理スタッフ確保の工夫について検討中だが、現在非常勤職員へ代理依頼や欠席児の担当職員が入るなどしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	90		10	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80		20	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	70	10	20	外部評価をおねがいできるように交渉中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80	20		内部、外部の研修、講演会等の告知は積極的に行っている。また、各自専門職としての研修に積極的に参加しているが、事業所としての研修は非常勤スタッフも多く、全員が参加できる日程の調整が困難。
適切な支援の提 共	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80	10	10	

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80		20
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/			
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/			
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/			保護者の要望があれば園訪問を丁寧に行っている
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80		20	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90		10	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/			事業所の特性、利用者の個人情報等の問題があり、そのような機会は設けていないが、各自の所属園がそのような機会となっている。

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	80		20	職員の参加は難しいが、管理者が参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	80		20	保護者担当者が月2回のグループ面談を実施し、その中でプログラムに基づいたアドバイスをを行っている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			③⑪と同じ
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100			保護者会等はないが、固定メンバーのグループ面談にすることで保護者同士がつながれるよう工夫をしている
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	60	10	30	現在、会報は発行されていないが、月2回ある保護者面談で口頭で伝えたり、必要な情報はメールで配信をしている。今後はHPを活用して発信していきたい。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100			
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				事業所の特性、利用者の個人情報等の問題があり、そのような機会は設けていない
	非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100		
④③		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			年に一度、スタッフのみでは行っているが、回数を増やす予定。
④④		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100			
④⑤		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	90		10	摂食の機会のある5歳児のみ保護者に確認している
④⑥		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50	20	30	事例についてのフォルダーを作り、PC上に設置してあるが、周知が徹底してなかったしかしその様な事例が発生した時は、その日の内にミーティングでスタッフ全員で情報共有を行っている。

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			行政で行う研修について掲示板にはるなどして周知。その他外部で専門職としての研修を積極的に受講している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/			「やむを得ず身体拘束を行う」という事態が発生しない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年1月26日

事業所名 心理・発達相談室 こぐま 保護者等数（児童数）44 回収数 39 割合 89 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	8%				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	97%			3%		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	85%	13%		2%	清潔には保たれているが、建物・設備は古い。	建物の古さは対応しがたいですが、耐震補強、玄関ドアの開閉速度の改善等安全面の工事を 設備面では、廊下療育室の床の張替え、トイレ改修など行っています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	97%			3%		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	87%	5%		8%		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	79%	8%		13%		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか						当機関の活動上、そのような機会はありませんが、日常的に通園している園がそのような機会となっている
への 説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	3%	3%	2%		

⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	74%	15%	3%	8%		いわゆるペアレントトレーニングは行ってないが月2回のグループ面談ではその内容を踏まえたアドバイスをやっている。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					保護者への支援が手厚く、親の心が軽くなる。 このように思っていただけの方が100%いらっしゃる方が私たちの今後の活動の励みになります。とてもうれしいです。ありがとうございます。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	97%	3%				
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	54%	15%	8%	23%		* 全体の保護者を対象にした会などの頻度がもう少しあるとよい。 * 同じグループの中で連絡先を交換している。 * とてもよい関係ができており、もったいなく思う。就学後も支援してほしい。
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	96%	2%		2%		
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97%	3%				
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	59%	13%	5%	23%		会報はありませんが、面談、一斉メールなどで必要な情報はお伝えしております。今後はHP等も活用していきたいと思っております。

								す。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	87%	5%		8%		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	64%	15%		21%		それぞれの対策マニュアルは策定されています。が、感染症対策を除き、保護者の方に周知が徹底してなかったようです。次年度から複数回の周知をするようにいたします。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	59%	13%	3%	25%		それぞれの対策マニュアルは策定されており、掲示もしておりますが、保護者の方に周知が徹底してなかったようです。次年度から保護者の方に実際の避難訓練を行うよう、計画に組み入れます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100				毎回とても楽しみにしている	この項目の 100%は本当に嬉しいです。最初はできないことばかりが心配だった保護者の方が、お子様たちの「こぐまだいすき」の笑顔に見方が変わってきます。まずは楽しくなくては！
	㉓	事業所の支援に満足しているか	95%	5%			* 保育園と違う環境、人間関係が本人の成長につながっていると感じる。	ご家庭と保育園等の集団保育の間でそのお子さんの特性、ペースを配慮しながら、両者と共に成長を支えてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。